

# ふくろいスマイル座談会 ④袋井西地区

【開催概要】 総合計画及び都市計画マスタープラン策定のために、地域の未来について、大場市長と住民との意見交換を行う「ふくろいスマイル座談会 袋井西地区」を以下の通り開催しました。

日時	令和6年9月19日(木)19時～20時30分
場所	袋井西コミュニティセンター【参加人数:37人】
内容	1 開会 2 まちづくり協議会/会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1)袋井市総合計画策定の進め方について (2)袋井市都市計画マスタープランの見直しについて (3)地区まちづくり協議会における「活動方針」の策定について (4)質疑応答 5 意見交換「袋井の未来のコト」や「地域の将来のコト」など 6 閉会



## 「ご意見・ご提案」用紙から

- まちおこしと防災、袋井型ウーバー・イーツに関する提案

## ●当日の意見交換の主な内容（※現総合計画の「政策」分野ごとに整理しました）

### 活力みなぎる産業のまち

- 袋井駅南や愛野駅は見違えるようになった。旧街道沿いも活気のあるまちになったらいいと思う。  
⇒旧街道では古い街並みを活かしつつ、リノベーションなど、スタートアップ企業が集まれる空間づくりなどを考えていきたい。
- これからの袋井市は外貨をどのように稼いでいくのか。知恵を絞って一緒に考えていければと思う。  
⇒にぎわい創出には経済活動が必要。北部では森町袋井インター通り線が整備中であり、これを地域の活力創造や産業活性化に繋がればと思う。
- 閉店した店舗に新しい店が入らないことも見受けられる。店舗の新陳代謝をどうしてくかが大事である。  
⇒空き店舗活用の補助事業を行っている。また、職員によるアドバイスなど、ビジネスマンが新たな一歩を踏み出せる支援も行っている。空き店舗などの情報発信を積極的にできる環境づくりも行っている。
- 人が集まりやすい場所に商業施設が欲しい。  
⇒駅前に商業施設を誘致するなど希望に応じていきたい。若い人の移動手段が限られるので、いろいろ楽しんでもらえる環境を作っていきたい。

### 安全・安心に暮らせるまち

- 地震やゲリラ豪雨など10年前には想定していなかったことも頻発している。このような考えも次期総合計画には入れるべきだと思う。袋井西地区には河川が5つある。液状化や水害などに対してどう考えているのか。  
⇒過去のさまざまな災害から、建物の耐震化や命山・防潮堤の整備、自助・共助の大切さなどを学んで対策を行ってきている。これまでの経験を活かしながら、力をあわせ、情報を共有し、次の世代に伝えていきたい。
- 年2回の防災訓練が、毎回、同じような内容、日程でいいのか疑問。避難所運営の訓練をするなど、毎年、目標をたてて実施した方がよいのではないかと。  
⇒避難所運営の訓練や事前情報なしで訓練するなど、現実的な防災訓練を考えていきたい。

### 市民がいきいきと活躍するまち

- 袋井西地区では、彩雲プロジェクトでまちづくりプランを作ったばかり。総合計画の地区別計画は『まちづくりプラン』を踏襲するようにお願いしたい。  
⇒袋井西地区はまちづくりプランがあるので、それを踏襲した形で整合性をとっていく。
- 第2次総合計画の振り返りはしていないのか。  
⇒毎年、取組みを整理し、年ごとに進捗と達成度合を振り返り、議会にも報告をしている。また、審議会でも強み弱みを整理して次期計画に生かすようにしている。
- 総合計画と都市計画マスタープランとの関係性はどうなっているのか。  
⇒総合計画が市の最上位計画。土地利用について、都市マスタープランと並行して見直すことで、整合性を図っている。